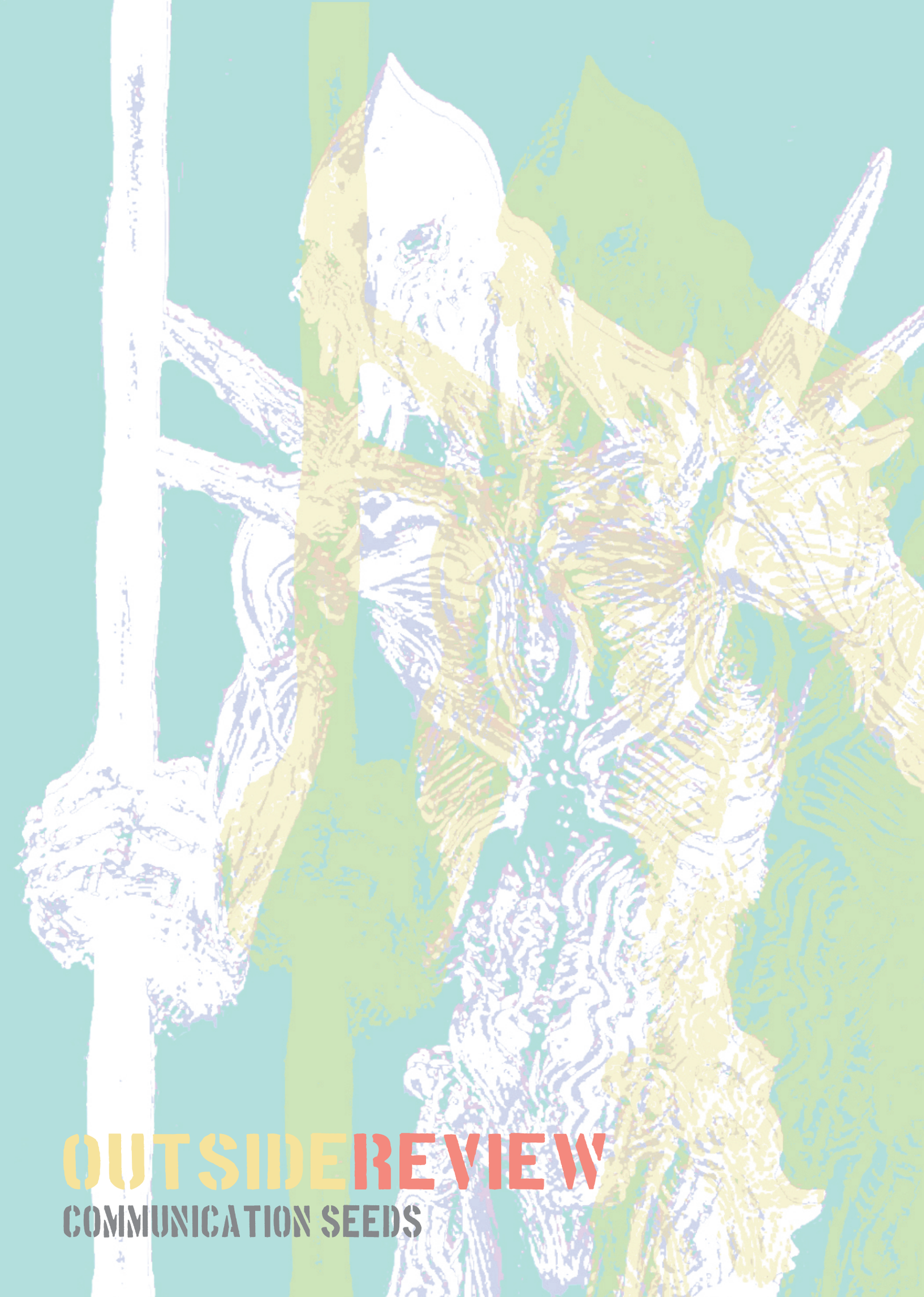


OUTSIDEREVIEW

COMMUNICATION SEEDS

PIONEER

先駆者

食の安定供給の礎は熊谷から始まった
小麦の生産量を劇的に変えた　『麦踏み・二毛作』
熊谷が世界に誇る　『麦王』　権田愛三

当時（江戸後期）麦作りは、生産方法が確立されていなかった為、収穫量も読めず、人々は慢性的な食料不足に陥っていた。そこで愛三は研究を重ね、良質な麦の生産にむけて麦の芽を踏む技術の「麦踏み」発案。また、増産にむけて、熊谷の雪の少ない気候を利用して米の収穫が終わった冬の間に麦の生産をする「二毛作」を行った。こうした技術改良の結果はすぐに数字に表れ、明治 29 年には当時の収穫量の 5 倍をあげることに成功した。
私たちのスタンダードは、こうした絶え間ない試行錯誤と挑戦の中で生まれました。今や日本は世界に類を見ない独自の麺文化を築き上げています。
熊谷出身 麦の王様『麦王』は、今の現状をどう見るのであろうか？
うどん県？　それ、もちろん埼玉の事だよね !?
かつて王様がいた都市なんて、他にありますか ??
誇ろうぜ、熊谷 !!　もっと知ろうぜ、熊谷 !!

FACT

事実

実は熊谷は、水切り（水面石投げ）の聖地 !?
日本記録保持者は熊谷水切りクラブ代表
日本記録 46 段　森川寛さん

誰もが一度は挑戦した事があるだろう、水切り。
水面を勢い良く跳ね上がる石を見て、男のロマンを感じた。
どんなデジタルアプリよりも夢中にする何かが、河原には存在した。そしてその遊びは時を超えて、新たなスポーツとして注目される事となる。テレビ番組「飛び出せ科学くん」で、水切りの達人 森川寛さんが紹介されました。その番組中に、常人では考えられない記録を叩きだしました。そして、そのロケーションにピーンときた人もいたはず。そう、われらが青春を謳歌した荒川河川敷じゃありませんか !! 熊谷に水切りクラブの団体が存在し、日本記録保持者までいるなんて…、完全にノーマークの状態で知り得た事実でした。熊谷って、色んな可能性があるんですね。我が青春のルーツを求めて、今一度河原に足を向けてみよう！
人生の指南書を発見する事ができるかもよ。（完全に殿方目線で）

OBJECT

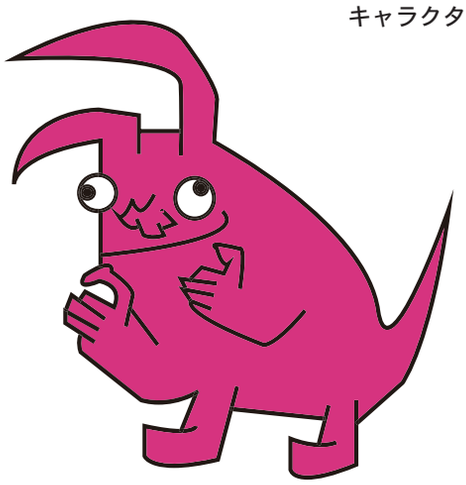
造形美

やっぱり代官山あたりのマンションはお洒落だね。
いいえ、これは全てくまがやでの出来事です。

ドラマに出てくるようなお洒落な場所に住みたい。それは熊谷でも可能な事が判明しました。コンクリート打ちっぱなしの壁面に、ナスカの地上絵的なデザインがランダムに散りばめられ、玄関はハンドの切り抜き。お洒落すぎでしょ！住居が世界遺産のカサミラを熊谷でも再現できるんじゃないかと、熊谷の可能性にまた一つ興奮してしまいました。

CHARACTER

キャラクター



アカマルのオトモダチ
CMYK のマゼンタ

アカマル（創刊号に登場したキャラクター）のオトモダチで、もとをたどれば全ての始まりはこのマゼンタからでした。シアンにイエロー、そしてブラック。個性豊かなCMYKの４人をまとめるリーダー的存在。責任感が強く、熊谷をクマガヤにするために、日々 WEB 上を奔走してます。ゆるきゃらの次は、アートでスタイリッシュなアイコンの出番だと強く感じます。

3 ♥ 3 ♥

3

OUTSIDEREVIEW

感度の別アングルを発信する

communication seeds

2013.9-Lot.No.3

BEARCANION PUBLISHER